

昨年は大型の台風が相次いで上陸し、大雨で水害の被害が多く発生した年でした。そこで4ブロックでは、身近に起こる災害に対してどう取り組んでいったらいいのかをテーマとし、現状を見つめ館長を交えて研修しました。

これまでの各館の防災の取り組み

〇日頃からの取り組み

マニュアルに基づいた避難訓練  
年2~3回、公民館や図書館、市民センターと  
合同で行っている

災害が起こった時  
すぐに逃げられることを考え、日頃から  
内履きをはいている

子ども達にむけて

・台風や地震が起きた時に  
災害に関連する紙しばいを読み  
みんなで学びあう  
・毎月“災害クイズ”を出している

水や食料  
防災頭巾の  
備蓄

台風が近づいてきた時、対策として正しくないものは・・・  
A)いつでも避難できるように防災グッズを準備する  
B)ラジオやテレビで天気予報をチェックする  
C)家の外に出て台風をチェックする

〇防災体験として

防災食作り

災害時の食事ってどんなもの？と、  
防災食作りを体験。お皿にラップを敷いて  
災害時の知識も学んだ。



防災グッズ作り

地域の防災士に来ていただき、新聞紙で  
スリッパやお皿を作った。



防災からだづくり講座

災害はいつどこで起こるか分からない。  
もし災害が起きた時、どうしたらいいのかを  
楽しく学んだ。



がれき(障害物)の中から  
抜け出す動作を体験

防災頭巾を使って火災体験

避難訓練の時に防災頭巾を使用した。  
訓練の前に防災頭巾の使い方や置いてある場所などを  
子ども達と確認し、もし災害が起こった時には子ども達  
自身でも使用できるように指導した。



(研修内容) 金沢かがやき講座「防災出前講座 ～自助・共助と公助について～」

近年大雨による災害が相次いでいるので、『防災気象情報とその利用』という内容で  
天気予報の用語や注意報、警報、避難などについて講義していただきました。



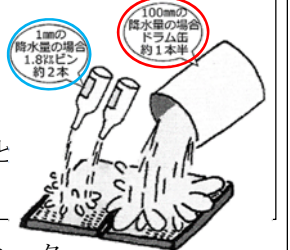
☆雨の強さについて

雨の降り方と強さ		出典：気象庁サイトなど
やや強い雨	1時間に 10~20mm	ザーザーと降り、地面一面に 水たまりができる。 長く降り続くときは注意が必要。
強い雨	1時間に 20~30mm	どしゃ降り、傘をさしていても ぬれてしまう。側溝や小さな河川が あふれることがある。
激しい雨	1時間に 30~50mm	バケツをひっくり返したように降る。 山崩れや崖崩れが起きやすくなり 危険地帯では避難準備が必要。
非常に激しい雨	1時間に 50~80mm	滝のように降り、傘が全く役に立たず、 先が見えない。中小河川がはん濫し 土砂災害が発生する可能性が高くなる
猛烈な雨	1時間に 80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。 大規模な災害が発生する恐れが強く 厳重な警戒が必要

雨が量2枚(約1坪)の広さに降った時のおおよその見当

- 1時間に1mmの雨とは・・・1升びん約2本分の量
- 1時間に10mmの雨とは・・・1升びん約20本分の量
- 1時間に100mmの雨とは・・・ドラム缶約1本半分の量

これが30坪なら30倍の量になり、  
金沢市全体なら、相当な量になる。  
◎思っているよりも雨はたくさん  
降っているので、“雨は怖いもの”と  
認識が必要。



☆最近の川の氾濫の特徴はバックウォーター  
(本流の流れが強くて支流がせき止められ、水位が上がり  
あふれてしまう(例:伏見川と高橋川))で、用水でも段差が  
なければあふれてしまう。

☆注意報や警報について

大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報



注意報は  
最新の情報を把握して、  
災害に備えた早めの準備  
をする段階

警報は  
土砂災害警戒区域に住んで  
いる人は、早めの行動を  
する段階

大雨特別警報は  
すでに災害が発生している段階  
\*記録的短時間大雨情報や  
土砂災害警戒情報

また、下流で雨が降ってなくても、上流で雨が  
降っていれば、一気に流れてきてあふれてしまう  
ので危険。

※避難情報が出てから逃げるのでは遅い。  
車で逃げると溝と道路の境がわからなくな  
って溝にはまって水没してしまう。

命を守る行動を!



☆雨雲について

同じ場所に長時間雨が降り続く(西から東へ雲が流れる)と危険。  
雨雲レーダーを活用するとよい。

※金沢では、南西から北東に雲が流れると危ない。(ちょうど浅野川水害の  
気圧配置はこうだった)

～講師の方より～

石川県では大きな災害があまり起こっていないので、災害に対して危機感が薄いかもしれない。  
今の時代、『地震が起きた+雨が降り風が吹く』、『大雨の後に地震が起こる』など、ダブル、トリプル  
の災害が起き兼ねない。

私たちは、自分自身で命を守ることができるのか?それができていないと、人の命も守れない。  
“災害は身近なところにあるもの”と心に留めておかなければならない。  
地域を理解し、災害に備えることが大切。



防災士の方からも、災害が起こると水や電気が止まってトイレが使えなくなってしまうので、トイレの問題について講義をしていただきました。

災害時もトイレは必ず使用するもの ⇒ もしトイレが使えなくなった時に、子ども達がいたらどうするの？

### ☆インスタントトイレについて



※備蓄の中にはトイレも必要！

・学校や公民館にはインスタントトイレが備えてあるが、災害用品を扱う店やホームセンターなどにも売っている。

それがなくても、段ボールにバケツなどを入れ、ゴミ袋の中に新聞紙を敷き、吸水シート(紙おむつ、ペットシートでもいい)を入れるだけでもトイレになる。

・トイレは感染症に繋がるので、1回ごとに使い切ってほしい。

・賞味期限の済んだペットボトルの水も、キャップに穴をあければ、シャワーになって簡易ウォシュレットのようになる。



新聞紙はまるめて入れるより、8つ折りのほうが吸水力はUPします！

## 講義を受けて取り組んだことや今後の取り組み

### ○災害が起こった時のために

#### トイレ作り

子ども達と一緒に段ボールでトイレを作ってみた。

子ども達は「段ボールでトイレが作れるんだ！」や、「本当に座れるの？」と不安な様子も。



#### 防災士の方と一緒に

- ・地域の防災士の方と一緒に災害に関する話を聞いたり、自分の命を守る方法を考え合ったりする
- ・三角巾の使い方など応急処置について学んだ



### ○児童館としての整備

#### 避難所の確認

実際に子ども達を連れて、避難所まで行く訓練を行う。

避難所の収容人数や設備、備蓄なども確認してみる。

#### 防災食の試食

災害時は水しか使えないかもしれないので、水で作ってみた。



#### マニュアルの作成

児童館の災害マニュアルの再確認や整備

#### 備蓄をする

水やマジックライス  
インスタントトイレ、避難セットなど必要なものを購入する。

#### 小学校との連携

最後に、講師の方が“災害は身近なところにあるもの”とおっしゃっていたように、日頃からしっかり備えることが大切だと思いました。地域によって起きる危険災害や危険度も違います。自分の館の状況をふまえた準備が必要だと感じました。

金沢市児童館厚生員会  
〒920-0831  
金沢市東山3-29-22馬場児童館内  
Tel:253-1255  
第4ブロック担当